

# 一人一人が輝き、心豊かなたくましい永原っ子を育成するPTA活動

—子どもの基本的な生活習慣の確立を目指したPTAの取組—

## プロフィール

### 地域

加治木町は、人口23,000人で県のほぼ中央に位置している。その中で永原小校区は、町の中心部より4km離れた山間にあり、豊かな水を利用して農業が盛んである。

### 学校

永原小学校は、創立131年、児童数46名、学級数5学級、教職員数14名の小規模校で、平成16年度から特認校制度を開始し、現在18名の特認生が在籍している。

### PTA

会員34名、総務部、新聞部、保健部、生活指導部、体育部、教養部で構成。一人一人が輝き、心豊かなたくましい永原っ子を育成するPTA活動に取り組んでいる。

## 1 活動のねらい

永原小学校PTA活動の方針は、「子どもの健全育成を実現するために、保護者と教職員のすべての会員が所属意識を持ちながら、それぞれの立場で子どもの教育に対する責任を自覚し、自らの役割について改めて認識を深め、心豊かなたくましい永原っ子の育成に努める。」である。めざす子ども像を

- (1) 思いやりがある子 → 「本や植物と触れ合おう・家族の一員としての役割を果たそう」
- (2) 健康で粘り強い子 → 「生活リズムを見直そう」
- (3) 進んで学習する子 → 「家庭学習を定着させよう」

とし、学校と連携を図りながら基本的な生活習慣の確立に向けて取り組んでいる。

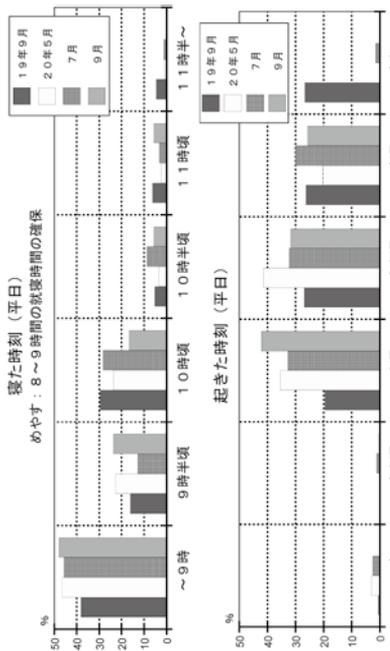
## 2 活動の概要

- (1) 「早寝・早起き・朝ごはん運動」の推進による生活リズムの育成

規則正しい生活リズムの育成を目的に、総務部が中心となって子どもたちの生活リズムチェックを行っている。

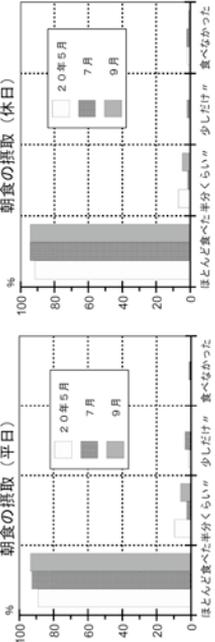
生活リズムチェックに見る家庭生活の状況（一部抜粋）

(1) 早寝・早起きの状況

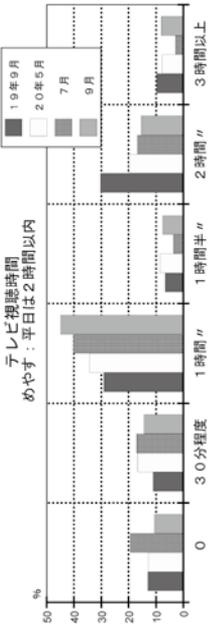


ほとんどの児童が10時頃までには就寝し、7時頃までには起床しており、8～9時間の就寝時間が確保されているものと思われる。

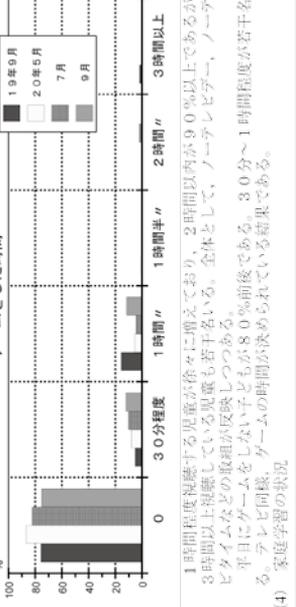
(2) 朝ごはんの摂取状況  
「半分または少しだけ食べた」と回答している児童も若干いるが、平日、休日ともに朝食の摂取率は良好である。



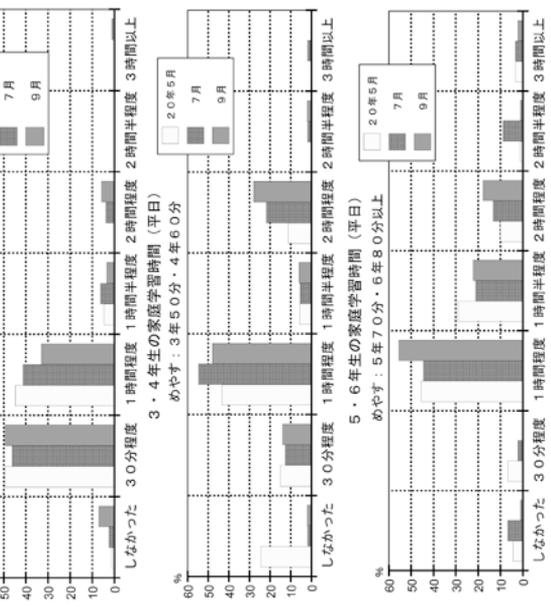
(3) テレビ視聴・テレビゲーム等の状況



ゲームをした時間



(4) 家庭学習の状況



めやすの時間に達していない部分もあるが、学習時間は全体として伸びており、おおむね良好であると考えられる。今後、学校からの課題の与え方や個人の学習の仕方などの改善及び、望ましい生活リズムの育成を図りながら、基礎基本の定着や学力向上をめざしたい。

永原小 P T A の家庭生活向上作戦

## 我が家の約束

～ 一家庭一家訓運動 ～

※ 各家庭で話し合っ、家族みんなで守る約束（ルール）を決めましよう。

- あいさつ、整理整とん、言葉づかいなど生活習慣から
  - ・ 相手より先にあいさつする。
  - ・ 自分の物は自分で片づける。 など
- 家事や手伝い、家族団らんなど家庭生活にすることから
  - ・ 決まった手伝いは毎日欠かさずする。 など
- 思いやりの心、感謝の心、やり抜く心など道徳の面から
  - ・ 笑顔を絶やさず、優しい気持ちで人に接する。 など
- 食事に関する食育の面から
  - ・ 夕食は、そろって食べる。 など




※ P T A 全体で取り組む事項（加治木町の共通実践事項）

- 話を静かに聞くことができる。
- あいさつができる。
- 正しい言葉づかいができる。
- 自分のことは自分でできる。
- 一日に見せるテレビの時間を決める。（平日2時間以内、休日4時間以内）



※ 我が家のノーテレビデーまたは、ノーテレビタイムを設けましよう。

（2）「二家庭・一家訓」の設定と継続実践

基本的な生活習慣の育成や思いやりのある子の育成など、家庭生活の向上を目指して「我が家の約束」を決め、

チェック項目は、「起床時刻」「朝食摂取」「学習時間」「テレビ視聴時間」「ゲーム時間」「就寝時刻」の六項目で、毎月第二週目の一週間を実施し、平日と休日に分けて集計・分析後は P T A 会員に報告し改善を促している。

（右図は、生活リズムチェック表と分析結果である。）

永原小学校・P T A の学力アップ作戦

## 家庭学習 60・90 運動

小学生で60分間、中学生で90分間をめやすに家庭学習をしようという運動です。

学校で学習したことをしっかりと身に付けるために、家庭での学習を計画的に行いましよう。

★ 家庭学習時間のめやす

20分間＋10分間×学年		20分間	
学年	学習時間	学年	学習時間
1年生	30分間	4年生	60分間
2年生	40分間	5年生	70分間
3年生	50分間	6年生	80分間

☆ 家庭学習の進め方（加治木町の共通実践事項）

- 毎日学習する習慣を身に付けましよう。
- 時間どおりに学習を始めましよう。
- 机に向かったら、すぐに勉強に取りかかましよう。
- 余計な物を机の回りに置かないようしましよう。
- 各学年の「家庭学習の手引き」を参考にしましよう。



**我が家の家庭学習3か条**

- ① 第1条 子どもが決める家庭での学習時間
- ② 第2条 子どもが決める家庭での約束
  - ・ 毎日続けて勉強する。
  - ・ 宿題を先にすませてから復習・予習をする。
  - ・ 漢字と計算は毎日練習する。 など
- ③ 第3条 子どもと保護者が一緒に取り組む約束
  - ・ 勉強するときはテレビを消す。
  - ・ 音読のときは、お家の人聞いてもらう。
  - ・ 学習がおわったらお家の人みてもらう。 など



（3）「家庭学習六十・九十運動」の実践

家庭学習の習慣化と学力アップを目指して「我が家の家庭学習3か条」を各家庭で決め、取り組んでいる。3か条は、「子どもが決める家庭での学習時間」「子どもが決める

取り組んでいる。実践状況については、毎月実施している生活リズムチェックや学期ごとの学校評価で把握している。

（下図は、一家庭一家訓の説明と家庭揭示用）

家庭での約束」「子どもと保護者が一緒に決める約束」である。学習の仕方は、家庭学習の手引を参考にしている。実施状況については、毎月の生活リズムチェックで把握している。

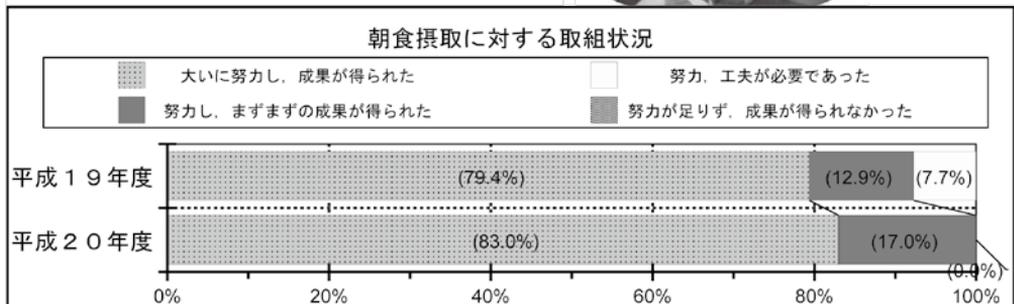
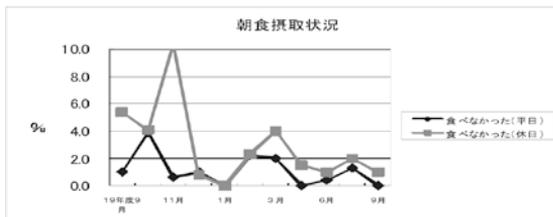
【一例紹介】

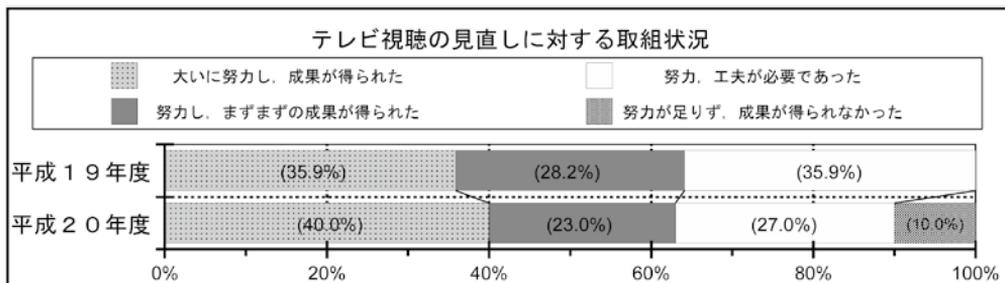
- ・ 毎日七十分以上勉強する。
- ・ テレビを見ないで宿題に集中する。
- ・ 音読を毎日する。
- ・ 字はきれいに書く。
- ・ 予習、復習をする。

### 3 活動の成果と課題

#### 成 果

- (1) 親自身が朝食の重要性を始めとして、生活リズムの育成が子どもの成長発達や気力・体力・学力の基盤であることを再認識するようになり、家庭生活の向上が図られつつある。
- (2) 各家庭で、生活習慣の育成や思いやりのある子の育成が確実にすすめられ、子どもの集中力が高まってきた。
- (3) 子どもたちの家庭学習時間の確保と内容充実が以前より改善されたことで、学力向上に向けての取組がしやすくなった。





課  
題

- (1) 「早寝・早起き・朝ごはん」を今後も継続して実践し、実態把握と改善を行いながら子どもの生活リズムを整え、基本的な生活習慣の確立をさらに図る必要がある。
- (2) 学校と連携を図りながら、家庭学習時間の確保と内容充実のために、「家庭学習六十・九十運動」を継続実践する必要がある。
- (3) テレビ視聴時間と番組内容の見直しを図るよう、今後も学校と連携を図りながら進める必要がある。

**展  
望**

児童数四十六名の小規模校の取組である。小規模校にふさわしく目立たぬ地道な活動を着実に展開している。「早寝・早起き・朝ごはん運動」や「家庭・一家訓」「家庭学習六十・九十運動」などが活動としてあげられている。どの活動も実証的に分析し、評価しながら基本的な習慣形成を図っている。学校との連携も強固なものが何れ今後が期待される。事例のすばらしさは、学校評価でこれらの活動が扱われることにより、学校と家庭との連携がより効果的に展開している点である。